

にんむ しれい しょ
忍務指令の書
こもんじよ まき
古文書をよむの巻



むかし ひと かんが し
昔の人の考えが知りたいと？そなたには古文書をよむ忍務を与えよう！

むずかしさ ★ ★ ★

① 徳川家康に、よくできた書物だとほめられた『軍法侍用集』。夏の戦いで体にたまった熱を取りのぞくには、どこに何をすればよいと書いてある？

- A わき^てに手ぬぐいをはさむ B へそにモグサ^いを入れ^{おび}帯で締める C 首^{くび}に氷^{こおり}をあてる

② 謎が多い書物、『甲賀流^{こうがりゅう}武術^{ぶじゆつ}』。武術^{ぶじゆつ}だけかと思いきや、サバイバルで使えそうなことも書いてある。さて、船^{ふね}に酔^よわない方法^{ほうほう}は？

- A 塩^{しお}をへそ^いに入れて、上^{うえ}から紙^{かみ}を貼^はる B 硫黄^{いおう}のにおい^いをかぐ C 梅干^{うめぼし}を食^たべる

③ 御庭番^{おにわばん}の教科書^{きょうかしょ}ともいわれる『正忍記^{しょうにんき}』。食事^{しょくじ}の時^{とき}も、毒^{どく}が入^{はい}っていないか気^きをつけていたようだ。では、毒^{どく}が入^{はい}っていると考^{かんが}えられた食^たべ物^{もの}や飲^のみ物^{もの}は何か？メモせよ。

☆ ()・()・()・()・()に毒^{どく}が入^{はい}ってる?!

④ 尾張藩^{おわりはん}に仕^{つか}えた忍^{しの}びのインタビューをまとめた『用間加^{ようかんか}條^{じょう}傳^{でん}目^{もく}口^{こう}義^ぎ』には、武士^{ぶし}たちがよく読^よんだという中^{ちゆうごく}国の兵^{へい}法^{ほう}書^{しょ}が紹^{しょう}介^{かい}されている。それはど^{しよまつ}の書^{しょ}物^{ぶつ}か？

- A 『孫^{そん}子^し』 B 『萬^{ばん}川^(まん)集^{せん}海^{しゅうかい}』 C 『論^{ろん}語^ご』

⑤ 『正忍記^{しょうにんき}』の著^{ちよしゃ}者^{しゃ}、名^な取^{とり}三^{さん}十^{じゅう}郎^{ろう}が記^{しる}したともいわれる『軍^{ぐん}随^{ずい}心^{しん}童^{どう}記^き』。そこには「戦^{せん}国^{ごく}版^{ばん}インスタント^{しる}みそ^{つく}汁^{かた}」の作^かり方^かが書^さかれてい^るが、材^{ざい}料^{りょう}は何か？探^{さが}し出^だしてメモせよ。

☆ ()と()で、「早^{はや}汁^{じる}」になる!

ぜんぶできたら、忍者になれるかも?!

